



目 次

2 議会ニュース

3-7 一般質問

4-9 委員会審査のあらまし

10 議会で決めたこと

第4回議会定例会を開催

平成24年第4回議会定例会は、12月3日~25 日の23日間を会期として開き、市長提出案件18 件(継続案件6件含む)、議員提出案件1件を 審議し、また、議員の派遣についても決定いた しました。

編集=広報委員会 発行=交野市議会

議

の

動

平成23年度の決算を認定

般会計及び5特別会計の歳入歳出決算

祉総合センター条例 を改正する条例」 致で可決 0

を認定しました。 らの審査報告が行われ、 案件について、同委員長か 閉会中の継続審査となって 会定例会(9月議会) 歳入歳出決算は、 た決算特別委員会の付託 次に、専決処分事項 般会計及び 5 特別会計 平成23年 から

25日には、

2常任

成24年度交野市 た後、 (第4号)」 「交野市立保健 般会計補 を承認 報告が行われた後、 委員会から付託案件の審査 最終日

すべての議案を可決

採決を

他5議案

を可

決

る意見書 イドレートの (会議結果は最)ました。 員の派遣について」

今議会は閉会しま

]

「交野市 暴力 寸

除条例 野市介護保険条例の 総務文教常任委員 都市環境福祉常任 改正する条例」 の制定」 他 他2議案を 委員会に

25日の23日間を会期として

今議会は、12月3日

「から

罹いたしました。

初日の冒頭に、

第 3

口

全般に対する一般質問 7ページ参照)を行 17 日から 19 しました。 日には、 3

議会基本条例制定に向け他市を視察

実用化力

を求め

「メタンハ

本市議会では、議会基本条例制定に向け、議会改革委員会において条例案などを検討しています。 検討を進める中で、既に基本条例を制定されている先進市への視察を行うことを決定し、11月22日 に京都府亀岡市及び三重県亀山市に、27日に京都府宇治市を訪れ、議会基本条例制定までの課題や条 例制定後の課題及び議会報告会の運営などについてご教示いただきました。

視察によってご教示いただいた内容を参考にさせていただき、現在、条例制定に向け取り組んでお ります。



宇治市での視察



亀山市での視察

※議会基本条例…自治に基づいた地方議会に関する基本的運営事項について定めた条例

公

安 全

三浦美代子 友井 健二 新 雅 人

方は。 応、又、防災・減災の考え異常気象による災害への対 問 巨大地震、 大雨などの

も積極的に取り組んでい を創設、防災行政無線の抜 本的改修を行った。来年度 本年度、 災害対策基金

問 している災害備蓄品を分散 の最適な場所と考えてい 所となっており、 備蓄することについては。 小中学校が指定避難場 教育委員会との調整を いきいきランドに集中 進めている。 分散備蓄

について検討を進めてい D化について、 その具体化 ついて(リース方式を含め 交野市に適した方法を 防犯灯等のLED化に 防犯灯の全面的なLE

住民の行政訴訟判決 (星田駅前パチンコ店営 業許可取消) について 7

問 の見解は。 現在係争中の事案でも 判決に対する市として

61 ついては注視していきた あ b, 今後の裁判の行方に

め、固 かる規制についての対応 今後の風俗営業等にか 現在ある市の条例を含

答は。 づいて行うことを認めても 要望 独自の基準、 を進めている。 条例改正に向けて検討作業 ての検討会議を設置して、 らうよう市から府・国へ声 現在、 府条例、 当該条例につい 地域設定に基 法律を各市

教育行政 (教育現場) について

び長期休暇における平日の

(現在4校実施)

を上げてほしい。

検討していきたい。

・安心のまちづくりについて ほか 促す。 見直し向上に努めることを え、教員が自己の授業力を ごとの結果等を教職員に伝 活用するのか。

と認識していない。 が特段の成果をあげるもの うが、教育委員会の考えは。 評価するやり方を疑問に思 問 今回の授業アンケート 保護者や生徒が先生を

る。 組みをされるよう要望す 施に向けて、 来年度からの本格実 工夫ある取り

こどもの安全について 通学路・ 校庭開放

要望 全対策について。 問 実施を行いたい。 できる限り年度内には対策 べき抽出された12ヵ所の安 関係機関と調整の上、 通学路の緊急に対応す 放課後の校庭開 の拡充及

要望

連

携強化を。

む。このアンケートをどう 映させるのは理解に苦し ケート結果で教員評価に反 授業アンケートの観点 教職員の指導力をアン

安全対策が実施された通学路

福祉行政 (地域福祉) について

では「見守り」「声かけ運 K て、 問 あいさつ運動」、 市では、「ごきげんさ 市の取り組みは。 の防止につい 地域

の協力体制は。 (電気・ガス・水道等) ライフライン事 業者 ع

を進めている。 サービス隊」との協力体制 式会社の「高齢者等見守り 交野市水道サービス株 さらなる関係機関と

その他の質問

用について プラネタリウムの再活 給食センターについて

育の充実を要望する。 いてもできる限りの支援

教育行政につい て

会派無所属

坂本

顕

保護者、 が低く、 こ数年の間に、 見していただきたい。●こ 考するよう府教委に対し意 頼関係を壊してしまうた 教員を対象とした、 め、来年度の本格実施を再 ンケートについて。信用 フォン、Facebook、LINE、 |秋に実施された小中学校 また教員同士の信 教員と児童生徒 スマー 授業ア 1 性

よると、発達障がい児の数

とが必要である。

●報道に

子どもにしっかり伝えるこ

険が潜んでいる。まず大人

リングも無効になるなど危

が危険の最新情報を知り、

WiFi環境下ではフィル

夕

0)

個人情報が

漏れる、

ネット環境も大きく変化し

Twitter等の普及により

た。気付かない間に児童生

は増加傾向にある。

市にお

坂野 光雄中上さち子 • \blacksquare 海 ふみ

児童通学路の安全確保にむけた対策について ほか

する12箇所の点検を実施。 点検と安全確保が求められ となる交通事故が相次いで 問 育委員会3者で危険箇所と ているが市の取り組みは。 警察・道路管理者・教 登下校中の児童が犠牲 国から通学路 の緊急

設置や路面ペイントなどを 教育委員会として、標示物 断歩道の塗装や信号機設置 など行う予定である。 警察においては、横

危険箇所とされる郡津3丁目付近通学路

高齢の難聴者への

支援策を

要望 の難聴。高齢者増加のなか 問 して補聴器購入への助成 補聴器などの給付を実施。 聴設備の充実を求める。 聴こえ支援」の考えは。 公共施設等での集団補 聴覚障がい認定者には 高齢者の半数は加齢性 経済的な負担軽減と

よる健康被害について 4市廃プラ処理施設に

施設とリサイクル加工 北河内4市廃プラ処理

問

と対応を求める。 があった残りの箇所の点検 要望 る。また、小学校から報告 策計画を作成すべきであ ある。市は通学路の安全対 など根本的な対策が必要で 歩道設置・ 道路拡幅

望する。 いる。 番近い星田西・星田山手地 要望 いる。廃プラ処理施設に一 0人が健康被害に遭われて 健康調査の実施を要 健康被害が起こって 寝屋川市で約100

約29円である。 比較はどうか。 いる自治体もある。 リサイクル処理は1 廃プラを焼却処分して 焼却処理は1. kg 約 コスト kg 18

含めた処理方法を再検討し ていただきたい。 コストや健康被害を

授業アンケートについて

が経緯は。 業アンケートが実施された 保護者や生徒が評価する授問 学校の先生の授業を、

に原因の裁定を求めてい 側は「公害等調整委員会 化学物質による健康被害が ル社の周辺で 決め、試行実施した。 ことを受け、

多発している。現在、

イコー

と4市廃プラ施設に2度の 視察があった。これから大 これまでに4度の審問 進捗状況はどうか。 考えは。 る意見や、 問

団排除条例の制定

議案第65号

概要

暴力団排除に取組

気調査が実施される。

要望 中止を強く求めてほしい。 を踏まえ、府教育委員会に される。保護者や現場の声 頼関係を損なうことが危惧 先生・子ども・保護者の信

その他の質問

ついて ファミリーサポ 障がい福祉サー ンターの充実を ・ビスに 卜 乜

道路の振動対策

が、教職員の評価育成のた め授業アンケートの実施を 府立学校条例が施行された 平成24年4月より大阪 府教育委員会

声が圧倒的に多かった。教 るとは認識していない。 ケートが特段の成果をあげ 育委員会としても、 など、アンケートに反対の することに危惧を感じる_ るアンケートが人事に影響 価はできない」「主観の入 を見たこともない先生の評 保護者からは、「授業 保護者から出されてい 授業アンケートは、 市教育委員会の アン

講じるために必要事項を

定めるもの。

もに、本市の事務事業等 む姿勢を明確にするとと

から暴力団排除の措置を

問 ·主な質問 のかその考え方は で市民に責務を負わせ 規定しているが、 市民と事業者の責務を 何処ま る

が、直接暴力団に対応し をいただくもので、 は、 ていただくものではない。 くまで市民の方について 条文の規定どおり、 情報提供などの協力 可決 (満場 市民 致 あ

(第5号) **交野市一般会計補正予算** 議案第75号 平成24年度

委員会審査のあらまし 制定など2議案を可決 交野市暴力団排除条例 総務文教常任委員 交野市暴力 (12月6日) 会 の

かたの市議会だより(4)

生徒指導は、家庭にお

ける役割が大きく、

、その教

松本 片岡

教育行政環境づくりについて ほか

導上の課題などは。 校の状況について、 問 現在、 中学における暴力行 交野市内の中学 生徒指

為 あります。 取り組みが必要であります。 小学校と連携した分析及び 中学だけの問題ではなく のが特徴となっています。 中学校1年生の件数が多い 期と比べ、やや増加傾向に 動の件数は、 在取り組んでいる内容は。 器物破損などの問題行 改善方策について、現 今年度は、 昨年度の同時

> Ļ 兀教員や学生を派遣してい 学校の要請に基づいて

問 してどのように取り組んで いくのか。 今後、 生徒指導上の課題 市教育委員会と は

と考えています。 学校や生徒の課題に合わせ す。交野警察や守口少年サ 多様化・複雑化してい 出来るよう努めていきたい た機関を複数交えた連携が ソーシャルワーカー等、 ートセンター、スクール 主

望する。 は、 供たちのためにも、学校に き活躍する次世代を担う子 るために更なるご努力を要 おける生徒指導上の問題 |要望|| この交野からはばた し、学校の環境を良くす 地域、学校、家庭と連

指導支援者派遣事業を実施

の人的支援として、

要であります。

また、

た取り組みを進める事が必 家庭が連携し、改善に向け 育力が重要となり、学校と

財政について

況なの のか。 どのような財政状況にある 問 4%」が示す意味として 将来負担比率258 なぜ「厳しい」 か、 平成23年度の 財政 状

も32%以内に収まる見込み 負債が30億円ほど増加して 率の減少は難しいが、 ことになります。今後、比 負債の償還等へ財源を割く 率は、数値が高くなるほど も2番目に高い数値となっ は言えません。将来負担比 ており、決して良い状況と 全国で9番目、 府下で あと



財政状況の厳しい交野市 (市役所)

図ります。 問 阪府と活用に向けた調整を 残高の削減について。 による土地開発公社の保有 条件が整った場合、 、わゆる 『三セク債 大

問 健全化計画の改訂につい 増額変更がある第2次財政 当初より数十億円もの

平成31年度以降、 表に努めます。 民にとって分かりやすい公 状況等につきましては、 画の策定が必要です。財政 起債償還が本格化する 第3次計 市

のか。 政規律』ではないのか、 はどのように認識している 財政健全化計画は 財 市

2次財政健全化計画を着 均衡を図るようにも努力を 意見 負債額の圧縮_ 民健康保険特別会計の収支 の均衡」と言うならば、 に推進してまいります。 て頂きたい。 「財政収支の均衡」「総 そこまで「財政収支 が目標の第 実

ジタル化設置事業、農業 施設災害復旧等にかかる 防災行政無線のデ

·主な質問

補正。

に対する国からの補助 金

ル化の設置箇所及び事業

防災行政無線のデジタ

に移設、 と子局の24箇所をベース 定する。また、事業費の 中であり、実施設計で決 場所である親局の市役所 実施設計で、現在の設置 へ算入される。 70%相当額が地方交付税 設置箇所につい 新設を含め検討 ては、

結果 可決 (満場 致

都市環境福祉常任委員会 (12月6日)

する条例の制定など3議案を可決 交野市介護保険条例の一部を改正

保険条例の一部改正 議案第72号 普通徴収の仮算定 交野市介護

かたの市議会だより(5)

兼 前田 波 艶子・ 浅田 耕

• 空家の利活用について ほか

る倒壊の危険性だけでな の対策が求められている 問 んでおり、市としても、そ 火災などの恐れもはら 空地・空家は経年によ

がら、本市における空地・ 低いことや、個人財産の活 空家率が他市と比較しても は認識している。しかしな おいても、 点だけでなく、防災・防犯 を図ることは維持管理の観 更には地域の活性化に 空地・空家の有効活用 市として関与するこ 有益であること

0 を重ねて対応していきた あり、もう少し調査、 な課題があることも事実で マッチするのかなど、様

たい。 連携を図りながらぜひ有効 ことから、そうした地域と も、非常に高いものである る地域力は他市と比較して 要望 活用に取り組んでいただき べきと考える。本市におけ 極的に市としても関与する らんでいるのであれば、 に危険を及ぼす可能性をは 財産とはいえ、市民や地域 空地・空家は個人の

「かたの城市」と「マル シェ」との関係について

は他市では空家バンク制度 とが妥当であるのか、或い

や空家再生プロジェクトな

様々な手法により、そ

問 かたの城市」と、いきい 私部城址で開催される

それらの手法が交野市にも

の活用が図られているが、

関わりは 2つの「市」に対する市 頭市ということで、にぎわ きランドで開催される「マ いを見せているが、これら シェ」は、 双方ともに店

特に、かたの城市は、私部 においては、双方合致して としてテントブースを出店 活動を行うため教育委員会 城跡のPRや文化財の普及 内産業の振興に寄与する点 内ににぎわいを創出し、 り組みとなるよう努力され るものの、共に魅力ある取 的やねらいが異なってはい している。 いることから、市としても ている段階であり、また市 定の協力を行っている。 それぞれが開催する目 かたの城市とマルシェ 市

公園の管理・ について 運営

問 害が発生しているとのこと て、 市の管理する公園にお 現状と対策は。 遊具等が破損する被

本的に常時開放された施 ば星田公園などでは、 であり、特に人目に付きに くい立地条件の公園、 に公園に入り、 市 の管理する公園は基 器物を破損

問題や、 警察の協力を仰ぎながら、 考えるが、プライバシーの 抑止するために、 の未然防止に努めていきた 連携を図り、 校、そして保護者、 とから、まずは地域や学 にかかる課題などがあるこ ラの設置も有効な手法だと 迷惑行為があったと聞き及 んでいる。これらの行為を したり、大声を出すなどの 設置後の維持管理 器物破損など 防犯カメ 更には



過去に被害のあった星田公園

▼概要 の指定について(交野市 議案第73号 ア。 业地域子育で支援センター) 間·株式会社 25年4月から4年 指定管理者 プロ

▼主な質問

問 は、 担っているのか。 子育て支援センタ どのような役割 1 を

関する相談、啓発等の実 置づけとして、子育てに 情報の収集及び提供など の開催、子育てに関する 子育ての拠点という位 講習会及び研修会等

変更がなくなりわかりや

1回とすることで、金額

仮算定を廃止し算定を

や人件費など30万円程度 すくなる。また、郵送代

コストダウンが図れる。

可決

(満場

問

介護保険料の納期変更

を行うメリットは。

主な質問

更するもの。 を廃止し、

納付回数を変

交野市立青年の東

黒 野田 口 陽輔 実 久保田 哲

まいかねないなど、

青年の家にエレベーターの設置を ほか

る。 望む声も多くあった。今後 にたくさんの方が参加をさ 大きな役割を果たしてい る中で、特に文化活動では 人余りの人が利用されてい 問 ますます高齢化が進展して しての青年の家、 エレベーターの設置を 先月の文化祭でも非常 生涯学習施設の拠点と 年間13万

エレベーター設置が望まれる青年の家

きたい。 う話がありましたが、今後 でも優先順位をつけてとい えている。前回の答弁の中 設置は絶対必要であると考 の見通しをお聞かせいただ いく中で、エレベーターの

もエレベーターのないこと 後、ますます高齢化が進展 の拠点として、また教育委 に竣工し、市民の生涯学習 する中で、利用者の方が重 く補修を行ってきた。 が経過しており、幾度とな 用があるが、建設後30数年 しており、多くの市民の利 員会の事務室としても利用 い荷物を持ちながらの階段 上りおり、 青年の家は、 障がい者の方 昭和51年

> ので、 改修や修理に当たっている 最優先に考慮しながら順次 が進んでいる。教育委員会 識をしている。 リーの施設としてのエ では利用者の安全・安心を します他の施設でも老朽化 ーター設置は必要だと認 震診断とともにバリアフ 生涯学習部が所管いた ご理解いただきた しかしなが

警察学校跡地の 有効活用を…

だきたい。 含め、現在どのようになっ たが、その後の進捗状況を ルなどをお聞かせいただい 基本的な考えやスケジュー ついて、9月議会におい 問 ているのかをお聞かせいた 警察学校の跡地利用に 7

にないことから、去る9月 ては、市が購入できる状況 警察学校の跡地につきまし 大阪府所有となります

で学習の機会を奪われてし

建物の えているが、現在、 機関や良好な住環境を維持 阪府へ提案してまいりたい できる土地利用を基本に大 山景観に配慮しつつ、教育 である。具体的には、 と答弁を申し上げたところ 議会においても、 現況の里

る。これを受けて、 教育機関と良質な住宅地を 専用地域であることから、 地域の用途は第一種中高層 ては、教育目的限定の入札 て打診されている状況にあ 跡地購入について市に対 教育関係者から警察学校の 最優先してまいりたいと考 市とし 複数の

が実施されるよう府に働き かけをしてまいりたい。

その他の質問

の被害について 8 スポーツ、文化の振興に 民活について ゆうゆうバスについて /14豪雨時の 京阪電車

> る。 ·討論 子育て支援の拠点 というのは相応しくない としての役割を担ってい と考えることから反対す 子育て支援の拠点を担う 企業が選定され、 と考える。今回、 することが当然のあり方 は、市が責任を持ち運営 る子育て支援センター の役割を担っている。 交野の 東京の

▼ 結 果 可決 (賛成多数)

業の施行 議案第74号 土地改良事

· 概要 農林水産業施設災 害復旧事業・18箇所。

問 ·主な質問 業費のうち市の負担と農 なっているのか。 家の負担はどのように 国の補助金を除いた事

家が50%ずつ負担する。 金を除いた残りを市と農 総事業費から国の補助 可決 (満場 致

決算特別委員会 (10月29~31日・11月1日)

会計歳入歳出決算 議案第48号 23 年度 般

·概要 歳入22億1079 結果 認定 (賛成多数) 38万5千円。 万1千円、歳出21億22

※ブロック割は平成23年度 ・主な質疑 の機構による。

Aブロック」

少し良い傾向であると考 政委員会事務局 会計室・議会事務局・行 えるが、この要因は。 総務部·地域社会部 経常収支比率は年々減

えられる。三位一体改革 同水準まで回復したこと 今、交付税の額が以前と 減少があったものの、昨 策債の影響が大きいと考 方交付税及び臨時財政対 大きな要因として、地 地方交付税の

及び、税収についても三

収支比率が減少傾向にあ 件費削減が影響し、 考えられる。歳出につい でいたが、数年ぶりに増 位一体改革以降落ち込ん ても、給与カット等の人 加に転じたことが要因と

Bブロック

問 と無償化への考えは。 受けられるが、その原因 込みより少ないように見 ワクチンの接種者数が見 こども室〈保育所〉) 市民部·保健福祉 ヒブ、小児用肺炎球菌 部

数が減った方など対象外 助導入以前に接種済みの ワクチンの接種者数が見 の方がおられること、 方や年齢が上がり接種回 込みより少ないのは、 ヒブ、小児用肺炎球菌 副反応の報道等も要

> ことから、今後十分に分 すると考えるが市の考え カードの交付件数も増加 の利便性も増し、住基 付を行うことにより市民 析し検討していきたい。 住民票等のコンビニ交

年から戸籍の発行も認め 民票、印鑑証明の他に今 から、これらの状況を踏 る改正が予想されること がっており、今後も更な られるなど選択の幅が広 付については、従前の住 まえもう少し見極めてい 住民票等のコンビニ交

「Cブロック」

、環境部・都市整備部

問 農業委員会・消防本部 た、現在の整備状況及び 不用額となった要因、ま いて、公有財産購入費が 私部西線改良事業にお

り負担額が千円となった 化については、24年度よ 因であると考える。無償 完了予定時期は

額となった。 23年度中に当初予定

めている。 が完了し、工事について きなかった2件の土地所 は、25年度末を目処に進 業完了予定時期について 管理者と協議が済み次 設されているガス管等の は発注済みで、地下に埋 有者と今年度初めに契約 状況は、23年度に取得で 用地の取得ができず不用 ていた私部西線改良事業 く予定である。また、事 順次工事に入ってい 現在の整備

現在整備中の私部西線

ロブロック」

部・学校教育部・ 育総務室・生涯学習推進 (こども室〈幼稚園〉・ 図

の1.倍とすべきと考える 助の基準を生活保護基準 であると思う。 基準が厳しいことが原因 度は減少しているのは、 が、22年度に比べ、23年 就学援助の受給者 就学援

ことから、 思っていない。本市にお また、基準も厳しいと 題意識は持っていない。 れるが、激減ではなく問 考える。 いて、財政的にも厳しい 受給者数の減少はみら 現状が妥当と

問

が、元々の財政健全化計 概ね計画額に達している において、補助金の見直 しが行なわれ、23年度は (決算全般への質問など) 第2次財政健全化計画

況は。 業等への補助金額の見直 しについて、その進捗状 画にある地域・団体・産

り組んでいる。 第2次財政健全化計画策 を図ることを継続的に取 補助額及び対象の適正化 助効果を検証しながら、 などに各部署において補 おいても、予算の要求時 たところである。現在に 定以前から取り組んでき ながら補助していくよう 対する補助効果を検証し するとともに、団体等に は、管理運営補助は廃止 助金の見直しについて 地域や団体に対する補

要望 事業が予定されており、 ンターの建設など大きな どを検討し、 た財政に貢献するのかな の活力に繋がるのか、ま 支出について、本当に市 が考えられる。補助金の 財政状況が悪化すること ある補助金の出し方、 今後、新学校給食セ めりはり

ルール作りを明確にしてほ

予算に反映されることを要 検討していただき、

論

成、妊婦健診の公費助成拡 等3ワクチン接種費用助 置、また、子宮頸がん予防 普通教室等へのエアコン設 率が改善されたこと、さら 常収支比率及び将来負担比 は一定の評価をする。 充などの取り組みについ には学校耐震化、小中学校 の中、実質収支の黒字。 賛成討論 厳しい財政状況 7

えられ依然として厳しい財 増加や市税の減少も十分考 財政状況をみても扶助費の は変わっていない。今後の よって支えられている状況 玉 る依存財源の割合は高く、 業改善の取り組みや無駄の 託事業の見直し、新たな事 政状況であることから、 い、さらには決算特別委員 [からの地方交付税等に しかし、歳入総額に占め 歳入の確保などを行

童の保護者や出産前からり 解消としての人員増がなさ 教職員の多忙化の根本的な 民サービスの低下に加え、 なっているが、第2次健全 9371万5千円の黒字と スクを背負う特定妊婦への れていないこと、被虐待児 化計画での22年度からの市 おいては、実質収支は2億 23年度決算に

政治で、市民の暮らしは冷 引く不況と負担増を進める なわれていない。また、長 の強みなど重要な施策が行 理の体制を整え、防災対策 急な見直しを図り、危機管 みとして地域防災計画の早 財産を日頃から守る取り組 いる状況である。自治体の い。さらには、市民の命と ワーの配置がなされていな 余裕さえ失われ

> 層果たして頂くことを求め を守り福祉向上の役割を一

来年度

支援を広げるためのマンパ 賛成討論とする。 していただくことを要望し 分野においての投資を反映 さんの安全安心、特に災害 る状況ではない。市民の皆 みると、決して楽観視でき うのが実態であることを鑑 ところが非常に大きいとい 方向に向かっているが、地 ご理解とご協力のもとよい しを行い、市民の皆さまの 政健全化の中、様々な見直 決算においては、 方交付税等の他の力による 23年度一般会計 第2次財

議案第49号 23年度国民 康保険特別会計決算

年連続値上げであるた 討論 反対 = 国保料が3

認定 (賛成多数

会での意見要望を十二分に

役割として、市民の暮らし

道事業特別会計決算 議案第50号 23年度下水

▼概要 歳入18億34万3千 3 千円。 歳出23億2084万

結果 認定

(満場

保険特別会計決算 議案第55号 23年度介護

概要 歳入468669 94万8千円。 万9千円、歳出40億46 認定(満場 致

用地先行取得事業特別会 議案第52号 23年度公共

概要 93万9千円。 万9千円、歳出1億69 歳入1億6993

認定(満場 致

·概要 歳入7億9024 局齢者医療特別会計決算 23年度後期

万2千円、

歳出76億21万

歳入75億8251

認定(満場

万1千円、

歳出7億39

62万4千円。

平成24年第4回議会定例会(12月3日~12月25日)		
	案件名	本会議結果
議第48号	平成23年度交野市一般会計歳入歳出決算認定について	認定〇
議第49号	平成23年度交野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定〇
議第50号	平成23年度交野市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定◎
議第51号	平成23年度交野市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定◎
議第52号	平成23年度交野市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定◎
議第53号	平成23年度交野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定◎
議第64号	専決処分事項報告について(平成24年度交野市一般会計補正予算(第4号))	承認◎
議第65号	交野市暴力団排除条例の制定について	可決◎
議第66号	交野市手数料徴収条例の一部を改正する条例について	可決◎
議第67号	交野市立保健福祉総合センター条例の一部を改正する条例について	可決◎
議第68号	交野市防災会議条例の一部を改正する条例について	可決◎
議第69号	交野市災害対策本部条例の一部を改正する条例について	可決◎
議第70号	交野市自転車駐車場条例の一部を改正する条例について	可決◎
議第71号	交野市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例について	可決◎
議第72号	交野市介護保険条例の一部を改正する条例について	可決◎
議第73号	指定管理者の指定について(交野市立地域子育て支援センター)	可決〇
議第74号	土地改良事業の施行について	可決◎
議第75号	平成24年度交野市一般会計補正予算(第5号)について	可決◎
議員第19号	メタンハイドレートの実用化を求める意見書の提出について	可決〇
	議員の派遣について	決定

※議は議案、議員は議員提出議案です。本会議結果の◎は満場一致、○は賛成多数です。

議会の傍聴にお越しください ~平成25年第1回議会定例会の予定~ 2月27日(水) 本会議

3月7日(木)~11日(月) 本会議(一般質問)

3月27日(水) 本会議(委員長報告・採決)